

事業主のみなさんへ

一般事業主行動計画の策定・届出をお願いします

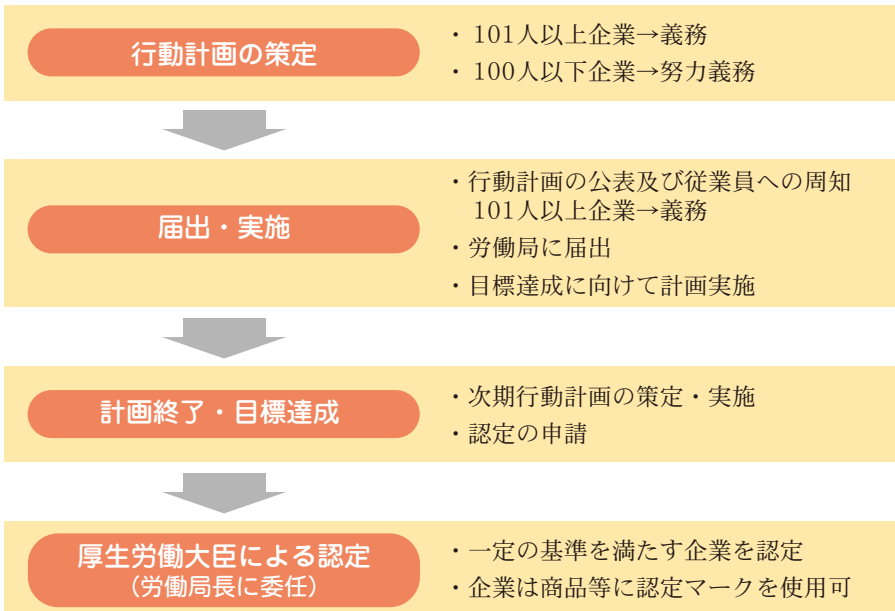
1 次世代育成支援対策推進法

次代を担う子どもが健やかに生まれ育つための環境づくりを進めるために、次世代育成支援対策推進法に基づき、労働者数101人以上の企業は仕事と子育てを両立させ、少子化の流れを変えるための行動計画の策定・届出及び公表・周知が義務となっています。

岡山県内企業の行動計画策定状況（令和2年3月末現在）

企業規模	届出数	届出割合
301人以上の企業	219社	100%
101人以上300人以下の企業	531社	99.6%
100人以下の企業	999社	

企業の行動計画策定・実施の流れ



行動計画に盛り込む内容

1 計画期間

2 目標

3 目標の達成のための
対策と実施時期

行動計画例

- 1 計画期間 令和〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日まで
- 2 内 容 目標1 計画期間内に育児休業の取得状況を次の水準にする。
男性：年に〇人以上取得
女性：取得率〇%以上
対策 令和〇年〇月 管理職を対象とした研修の実施
令和〇年〇月 育児休業中の社員で希望する者を対象とする職場復帰のための講習会を年に〇回実施
目標2 ノー残業デーを週に1日設定する。
対策 令和〇年〇月 検討グループを設置
令和〇年〇月 社内報などでキャンペーンを行う

事業主の認定について

一定の要件を満たせば、申請により、事業主は労働局長の認定を受けることができます。

認定を受けた事業主は、広告・商品等に次世代認定マークを付けることができ、企業のイメージアップを図ることができます。



また、くるみんマークを取得するとさらに高い水準の特例認定（愛称：プラチナくるみん）についても、取得を目指すことができます。



次世代認定マーク
「くるみん」

※事業主の行動計画策定や実施にあたっては、岡山労働局雇用環境・均等室(P64)が応援します。

岡山県内の「くるみん」マーク認定企業

令和2年3月31日現在

	企業名	所在地 (市区町村)	認定を受けた年
1	生活協同組合 おかやまコープ	岡山市	2007年 2019年(プラチナ)
2	株式会社DNPイメージングコム	岡山市	2007年
3	株式会社山陽新聞社	岡山市	2008年 2016年
4	株式会社岡山高島屋	岡山市	2009年 2011年 2015年(プラチナ)
5	カバヤ食品株式会社	岡山市	2009年
6	株式会社イデアス	玉野市	2009年 2012年
7	社会福祉法人愛誠会	新見市	2009年
8	セロリー株式会社	岡山市	2010年
9	共和機械株式会社	津山市	2010年 2013年
10	一般財団法人操風会岡山旭東病院	岡山市	2010年 2016年(プラチナ)
11	株式会社岡山村田製作所	瀬戸内市	2010年
12	国立大学法人 岡山大学	岡山市	2010年 2015年
13	株式会社トマト銀行	岡山市	2011年
14	岡山医療生活協同組合	岡山市	2011年
15	倉敷化工株式会社	倉敷市	2011年
16	オーエヌ工業株式会社	津山市	2012年
17	株式会社サンキョウ-エンビックス	岡山市	2012年 2015年 2017年
18	社会医療法人清風会	津山市	2013年
19	片山工業株式会社	井原市	2013年
20	株式会社両備システムズ	岡山市	2014年
21	株式会社スライブインターナショナル	岡山市	2015年
22	医療法人萌生会 国定病院	浅口郡里庄町	2015年
23	株式会社ハートサプライ	岡山市	2015年
24	株式会社中国銀行	岡山市	2015年
25	岡山スバル自動車株式会社	岡山市	2015年
26	医療法人淳和会 長谷川記念病院	新見市	2015年
27	学校法人 川崎学園	倉敷市	2015年
28	株式会社天満屋	岡山市	2015年
29	医療法人敬和会 近藤病院	真庭市	2016年
30	一般財団法人 倉敷成人病センター	倉敷市	2016年
31	倉敷地所株式会社	倉敷市	2016年
32	株式会社NICS	玉野市	2016年
33	有限会社 ケア・ワン	倉敷市	2016年
34	両備ホールディングス株式会社	岡山市	2016年
35	株式会社エムズ・ユー	岡山市	2016年 2019年
36	医療法人社団良友会	岡山市	2017年

	企業名	所在地 (市区町村)	認定を受けた年
37	株式会社 キャン	岡山市	2017年
38	社会福祉法人 明光会	浅口市	2017年
39	株式会社 クラビズ	倉敷市	2018年
40	株式会社 ジョンプル	倉敷市	2018年
41	倉敷木材 株式会社	倉敷市	2018年
42	株式会社 岡山情報処理センター	岡山市	2019年
43	株式会社 ハローズ	都窪郡早島町	2019年
44	一般財団法人 共愛会	苫田群鏡野町	2019年
45	セリオ 株式会社	岡山市	2019年
46	株式会社 天満屋ストア	岡山市	2019年
47	株式会社 シーズ	岡山市	2019年
48	株式会社 ラーンズ	岡山市	2019年
49	株式会社 グロップ	岡山市	2020年

「くるみん」認定企業の主な取組は、岡山労働局ホームページをご覧ください。

<http://okayama-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>

で検索 

2 女性活躍推進法

女性の個性と能力が十分発揮できる社会を実現するため、女性活躍推進法に基づき、労働者数301人以上の企業は女性が能力を高めつつ継続就業できる職場環境のための行動計画の策定・届出及び公表・周知が義務となっています。（令和4年4月からは対象企業が101人以上に拡大されます。）

岡山県内企業の行動計画策定状況（令和2年3月末現在）

企業規模	届出数	届出割合
301人以上の企業	219社	100%
101人以上300人以下の企業	25社	4.7%
100人以下の企業	62社	

企業の行動計画策定・実施の流れ

状況把握 課題分析

- ・女性の活躍状況を把握、課題を分析。
ex 女性の採用割合、管理職の割合

行動計画の策定 行動計画の社内周知・公表 行動計画を策定した旨の届出

- ・行動計画は社会周知と外部（インターネット）に公表。
- ・行動計画策定届を労働局へ届出

取組の実施、効果の測定

- 取組の実施状況を点検・評価し、次期の行動計画に反映。

女性の活躍に関する情報の公表について

女性の活躍に関する状況（管理職の割合、男女の平均勤続年数、平均残業時間等）について、求職者が簡単に閲覧できるよう女性の活躍推進データベース（<https://positive-ryouritsu.mhlw.go.jp/positivedb/>）に公表してください。

行動計画の策定例

★数値目標を行動計画に盛り込みましょう。

(株)〇〇〇 行動計画 (例)

- | | |
|--------|--|
| 1 計画期間 | 令和〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日 |
| 2 内 容 | 目標 1 女性管理職を〇人に増やす
対策
・意欲と能力のある女性の積極的発掘と、人材の育成研修への参加
目標 2 労働者の各月の平均残業時間を〇時間以下とする
対策
・部署ごとの残業時間を把握、検証する。
残業が一定時間数を超える労働者及び上司への通知・指導。 |

事業主の認定について

一定の要件を満たせば、申請により事業主は労働局長の認定を受けることができます。認定を受けた企業は、厚生労働大臣が定める認定マーク「えるぼし」又は「プラチナえるぼし」を商品などに付すことができ、企業のイメージアップを図ることができます。



「えるぼし」認定マーク



プラチナ「えるぼし」認定マーク

岡山県内の「えるぼし」マーク認定企業

令和2年3月31日現在

株式会社キャン
株式会社ストライプインターナショナル
株式会社ラーンズ
株式会社天満屋
株式会社両備システムズ
株式会社はるやまホールディングス
生活協同組合 おかやまコープ

女性活躍推進法に基づく行動計画策定等については岡山労働局雇用環境・均等室(P64)が応援します。詳しくは厚生労働省HP検索窓「女性活躍推進」で検索してください。